

### 学園聖句：「光の子らしく歩きなさい」 (エペソ人への手紙5章8節)

### 建学の精神 EST. 1935 (昭和10年) 創立81年

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

#### 普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

#### 看護科

- 看護科
- 看護専攻科

#### 商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

#### 健康福祉コース

10月21日(金)、2年生の実習報告会がありました。質疑応答では活発な質問にテキパキと答えていました。また、11月5日(土)は特別授業があり、生き方のデザイン研究所の山口恵美子先生とボランティアの方4名をお迎えし、1年生は「視覚障害者ガイド入門」、2年生は「障害のある人の権利と差別解消法」について学びました。



活発な実習報告会でした。



#### 特別伝道集会

11月10日(木)、本校の建学の精神であるキリスト教精神について学ぶ大切な行事である特別伝道集会がありました。今年度は救世軍八幡小隊牧師の細貝忠義先生をお迎えし、「十字架は生き方を変える」と題して講演を頂きました。



講演中の細貝忠義先生

#### シャロンカップコンテスト 中学生英語暗唱大会

11月5日(土)、第28回シャロンカップコンテストがありました。福岡・北九州より15校15名の中学生が参加しレベルの高い英語暗唱大会になりました。結果は次の通りです。

1位	2位	3位
遠藤愛佳さん 福岡女学院	窪田向夏花さん 明治学園	武富そのさん 西南女学院

10月23日(日)、西日本総合展示場にて西部ガス主催の「くらしガ、スマート! in 北九州」のイベントにボランティアで製菓コース2年生が参加しました。

#### 製菓衛生師コース



#### 保育コース

#### 幼稚園・保育園実習

11月7日(月)~11日(金)までの5日間、愛真幼稚園を中心に近隣の5施設で33名の生徒が実習を行いました。初めての実習に緊張しながらも園児にやさしく声をかけていました。



#### 国際交流

10月28日(金)、韓国の姉妹校温陽(ハヤ)ハノル高等学校より4名の研修生が来日しました。7泊8日の日程で日本文化や生徒の交流を深めました。11月5日(土)無事帰国しました。



## 文化祭

## テーマ「協心勳力」

11月2日(水)、平成28年度文化祭がありました。今年度のテーマは、体育祭と同様の「協心勳力」です。協力して物事を作り上げていくという意味で、生徒会が中心となって計画をした文化祭、楽しい一日となりました。



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

### 推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)~ 1月18日(水)  受付 午前9時~午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時~ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

### 一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)~ 1月27日(金)  受付 午前9時~午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時~ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成29年 1月24日(火)	国語・数学・面接  特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成29年 1月26日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成29年 1月31日(火)	国語・数学・社会・理科・英語	平成29年 2月6日(月)

## 学校見学会

## 第4回学校見学会

11月12日(土)、第4回学校見学会がありました。今年度最後の見学会には300名を超える中学生、保護者の参加があり、本校の学校紹介の後、来年度の入試傾向についての解説があり、真剣に聞き入っていました。



社会科の説明(上)と  
「よらいこ」の披露(下)

## 「大膳堀川開削工事に着工 ①」

藩主長政に篤い信頼を寄せられていた大膳は、御世黒田藩最大の土木工事だと云われた堀川の工事の総司に任じられます。そして、着工したのは元和七年(1621)一月十四日のことでした。大膳三〇才でした。工事の指揮監督体制として、副総司に林玄番、助司に野村勘右衛門(四千三百石)、野口左兵衛(二千五百石)、原弥左衛門(二千石)、下司に伊藤次郎兵衛(四百石)、浦上徳太夫(百三十石)を任命して、黒田藩にとっては初めてにして、最大の工事に入ります。最高責任者に任命されたのは、黒田藩二十四騎の一人で筆頭家老栗山備後利安(一万五千石を拝領・左右良城主)の嫡男大膳利章が就任、また副総司に命ぜられた林玄番、さらに、助司の野村勘右衛門、野口左兵衛、原弥左衛門は共に黒田藩二十四騎に列する家柄で、黒田藩にとっては最善の体制で着工したことになります。長政のこの工事に懸ける意気込みは並々ならぬものがあったのではないのでしょうか。工事の計画は、中間から岩瀬・水巻吉田(貴船神社横)・折尾を通して洞海湾に注ぐやや直線的通路を最善の策として工事に入ります。工事に入る前に、大膳は工事の無事と成功を中間村の郷社惣社神社に祈願したと伝えられています。 ※中間唐戸から程近い処にかつて中間村当時の鎮守の神、惣社宮が鎮座しています。栗山大善が堀川の開削工事で折、惣社宮に工事が無事に成就するよう祈願したと伝えられています。元和七年(1621)一月、今から凡そ四百年前のこととなります。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より